

みどりがおか幼稚園説明会における主な質疑（要旨）

7月28日（水）9:35~11:00 発言者10名

	質 問	回 答
1	認定こども園の内容がまだ詳しく決まっていけないというのは分かるが、どういうものにしていこうとしているにか知りたい。今2年保育だが、将来的には0歳からとか、設備がどうかとか。	みどりがおか幼稚園の認定こども園は、幼稚園型を考えている。4教室あるので、私立幼稚園の理解も得ながら3歳児も含めて検討していきたいと考えている。げっこうはら幼稚園は、改築なので、基本は幼稚園型だが、条件が許せば認可外保育施設を併設し、1~2歳からということも検討したい。具体的な案を今後まとめていきたい。
2	今、みどりの延長保育は人数が決まっているが、全員が対象になるという事か。	認定こども園は、短時間長時間の定員を予め公表するとなっている。全員が長時間ということではなく、都内の幼稚園型認定こども園の平均は、定員の約15%が長時間保育の枠となっている。地域により違うので、枠の設定については区内のニーズの状況を踏まえ、今後検討していく。
3	保育園のお休みは、日曜、祝日、年末年始だけだが、幼稚園型の認定こども園になった場合は、幼稚園の春休み・夏休みなど長期休業にあたる場合、オープンするのか。 また、先生の構成は幼稚園の先生だけか、保育園の先生も加わるのか。	認定こども園は、春休みや夏休みも常に保育を行う。 職員構成は、幼稚園型なので、9時~14時は幼稚園教員、前後は保育士とでローテーションを組む体制を考えている。人数は検討段階である。
4	給食提供による保育料の変更が発生すると思うが、どのくらいになるのか。	給食の費用負担も含め、どのくらいにするのか検討しているところである。
5	保育園の待機児は、0,1,2歳が多い。みどりがおか幼稚園の認定こども園は、やるとしても3歳からということだが、そうなった理由は。	みどりがおか幼稚園は4教室であり、預かり保育の部屋の確保などを考慮すると、0,1,2歳など低年齢児の部屋は確保できない。幼稚園型の単独型を選択せざるを得ない。
6	みどりがおか幼稚園の場合、現在の預かり保育とどう変わるのか。給食だけか、時間帯も変わるのか。どういうふうに移行していくのか、もう少し具体的に分かれればと思う。 また、説明会は今後も行われるのか。	今後骨子案としてまとめる予定であるが、開園時間は保育園に合わせていきたいと考えている。みどりがおか幼稚園は既に預かり保育をやっているため、具体的な移行方法については、今後検討していく。 定員については、幼稚園なので1クラス最大で35人だが、一定の幅を持たせて骨子案を考えていく。その定員の中で長時間、短時間の枠を設けることになる。 区立幼稚園見直しの基本的方向についての説明会は、8月28日（土）にもう一度行う予定である。 みどりがおか幼稚園とげっこうはら幼稚園は、認定こども園に移行していくので、その説明会などは今後行っていく。
7	決まった事はホームページ上にも載せているのか。	決まったことは、区のホームページに掲載している。

	質 問	回 答
8	区立幼稚園の募集時期について、1月に入ってから応募し、決まるのが1月中旬。私立は11月の募集で決まってしまう。時間差があるため、区立幼稚園に抽選でもれてしまった場合、私立に行きたくても行けない例があったので、区立幼稚園の募集時期について、今後変更するかどうか伺いたい。	私立幼稚園募集の後、区立幼稚園募集という形を長年やってきているので、直ぐに変えられるかという難しいと思っている。
9	幼稚園型認定こども園の長時間枠の平均が定員の約15%ということだが、今日は延長保育ができないとかいわれてしまうと仕事に対応できない。15%は仕事をしている人優先なのか、それとも希望で今日は延長利用したいとか、抽選で1年を通して保育園と同じ時間の利用ができるのか。	認定こども園は、通常保育時間の定員と長時間保育の定員が決まっている。今日は短時間、明日は長時間ということではなく、1年を通して同じ時間の利用となる。短時間の人が、今日は長時間利用したいというのは、一時保育ということで、現在もみどりがおか幼稚園で行っており、移行後も行っていく。
10	認定こども園になると、幼稚園の保育内容や月額保育料は変わるのか。	保育内容は、現在のみどりがおか幼稚園の保育内容をベースにしなが、さらに充実させていく。保育料は給食の提供もあるので、改めて再算定する。現時点で変わる、変わらないの結論はいえないが、今後、案の段階でお示しするので、意見を伺っていききたい。
11	具体的なことがはっきりしないので見えない部分が多い。具体的に、いつごろ話がまとまるのか。1歳半の子どもがいるが、3年保育だと決めなくてはいけない年齢にきている。いつぐらいまでに話をまとめて実施する方向なのか、決めて欲しい。	実施計画では、24年度中にみどりがおか幼稚園の設備工事、25年4月開園、げっこうはら幼稚園は、23年度に実施設計、24年度仮設園舎整備と現行園舎解体、25年度新園舎建築、26年4月開園の計画である。 逆算すると、どのような認定こども園にしていくか、骨子案として内容に一定の幅はあるが、今年度中にまとめていききたい。
12	みどりがおか幼稚園が認定こども園になっても、働く親にとっては使いづらい。仮に3歳からやったとしても、下に子供がいる場合、保育園と認定こども園の2つに通わないといけないし、長時間保育の定員も制限があるということで、働く親にとって活用しにくい。 募集時期も私立との兼ね合いで遅らせているとのことだが、住民の目線に立っていない。 人気のあるみどりがおか幼稚園を働く家庭にとって使いづらい認定こども園にするよりも、4、5歳の定員を増やしたほうがいいのではないか。	通常保育時間の定員と、長時間保育の定員をどのようにしていくのかは、今後骨子案をまとめる中で固めていって、意見も伺っていききたい。 募集時期については、区における幼稚園のこれまでの経過もあり、こういう時期で定着している。 認定こども園については、今のみどりがおか幼稚園の預かり保育でも一定の利用者がいる。潜在的需要はあるだろうということで、働く家庭も、家庭で子育てしている家庭も等しく幼稚園教育を受けながら、子育てをしていける環境をつくっていかうということなので、ご理解いただきたい。
13	来年度みどりがおか幼稚園の入園希望をしている。移行が25年4月で直接関係ないが、移行に当たって工事で外で遊べないなど、変わっていく事はあるのか。	24年度に工事を行う予定であるが、給食設備の工事なので、長期間の工事ではない。夏休みなど影響が少ない時期を想定しており、遊び場の確保も配慮する。